

RSBM-F一括切替のご提案

概要

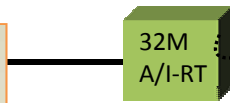
32M RT等からRSBM Fへ更改時において、二重ジャンパ自動試験装置「8」(以下、WJP-ATE-8)を用いて、ジャンパの正常性とラインカードの正常性を一斉に検証し、複数のRSBM-Fを同時に切り換える方法をご提案いたします

WJP-ATE-8はNTTの仕様書物品(東仕293037号8版、西仕293037号8版)です

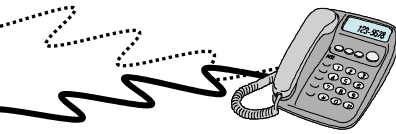
WJP-ATE-8とRSBM-F用CR付断線片を使用し、二重ジャンパ検証を一斉に行います



WJP-ATE-8



CR付断線片を挿入



二重ジャンパとラインカードの正常性を検証

効果

稼働削減

一斉に二重ジャンパ検証を行うので、誤接続を防止でき、工事期間の短縮が実現できます

ラインカードの正常性も確認

二重ジャンパと同時にラインカードの検証も行うことができます

検証結果の保存

試験結果をCSVファイルへ変換することができ、印刷も可能です

切替手順

RSBM-Fの手動MDF部であるFMDF-P500Aに「線路プラグ」及び「所内プラグ」が両端についた「線付きプラグ」を使用し、ジャンパします

「線路プラグ」の弾器部に予めCR付断線片を挿入し、直流をカットした状態でジャンパリングします

ジャンパ完了後、一斉に二重ジャンパ検証を行います

切替当日は32-RTのコネクタを抜去し、RSBM-Fの手動MDF部から「CR付断線片」を一斉に抜去します

